

社会福祉法人広済会 定款

第一章 総則

(目的)

第一条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じた自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

- (1) 第一種社会福祉事業
- (2) 第二種社会福祉事業

(名称)

第二条 この法人は、社会福祉法人広済会という。

(経営の原則)

第三条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

- 2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、地域で生活をする障害者を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第四条 この法人の事務所を群馬県桐生市新里町武井455番地1に置く。

第二章 評議員

(評議員の定数)

第五条 この法人に評議員7名以上11名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第六条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、事務局員1名、外部委員1名の合計3名で構成する。
- 3 評議員選任候補者の推薦及び評議員解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 評議員選任候補者の推薦及び評議員解任の提案を行う場合には、当該者が評議員とし

て適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員が出席し、かつ、外部委員が賛成することを要する。

(評議員の任期)

第七条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

- 3 評議員は、第五条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第八条 評議員に対して、各年度の総額が200,000円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算出した額を、報酬として支給することができる。

第三章 評議員会

(構成)

第九条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

- 2 評議員会に議長を置き、議長は出席者の中からその都度選任する。

(権限)

第一〇条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第一一条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第一二条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第一三条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(1) 監事の解任

(2) 定款の変更

(3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第一五条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第一四条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人二名が、これに記名押印する。

第四章 役員及び職員

(役員の定数)

第一五条 この法人には、次の役員を置く。

(1) 理事 6名以上10名以内

(2) 監事 2名以上

2 理事のうち1名を理事長とする。

3 理事長以外の理事のうち、1名を業務執行理事とする。

(役員の選任)

第一六条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第一七条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 理事長及び業務執行理事は、毎会計年度に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第一八条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第一九条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結の時までとし、再任を妨げない。

2 任期の満了前に退任した理事又は監事の補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

3 理事又は監事は、第一五条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第二〇条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第二一条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

(職員)

第二二条 この法人に、職員を置く。

2 この法人の設置経営する施設の長、他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。

3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第五章 理事会

(構成)

第二三条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第二四条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び業務執行理事の選定及び解職

(招集)

第二五条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第二六条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第二七条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。
- 3 理事長が欠席した時は、出席した理事及び監事全員が第1項の議事録に記名押印する。

第六章 資産及び会計

(資産の区分)

第二八条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他財産の2種とする。

- 2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

(1) 群馬県桐生市新里町武井741番地、742番地1所在の鉄骨造陸屋根亜鉛メッキ鋼板葺2階建1棟（体育館）

床面積 1階293.29平方米 2階99.90平方米 （延面積 393.19平方米）

(2) 群馬県桐生市新里町武井711番地5所在の土地
面積 1086.05平方米

(3) 群馬県桐生市新里町武井460番地2所在の土地
面積 3286.00平方米

- (4) 群馬県桐生市新里町武井460番地7所在の土地
面積 330.82平方米
- (5) 群馬県桐生市新里町武井460番地7所在の木造瓦葺2階建1棟(寄宿舍)
床面積 1階59.00平方米 2階49.68平方米 (延面積 108.68平方米)
- (6) 群馬県桐生市新里町武井460番地1所在の土地
面積 1691.73平方米
- (7) 群馬県桐生市新里町武井460番地所在の鉄筋コンクリート造陸屋根2階建1棟
(寄宿舍)
床面積 1階1580.87平方米 2階147.60平方米 (延面積 1728.47平方米)
- (8) 群馬県桐生市新里町武井460番地2所在の軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建1棟
(車庫)
面積 94.64平方米 (延面積 94.64平方米)
- (9) 群馬県桐生市新里町武井511番地2、459番地3、505番地6所在の木造合金
メッキ鋼板葺平屋建1棟(寄宿舍)
床面積 163.96平方米(延面積 163.9平方米)
- (10) 群馬県桐生市新里町武井712番地1所在の木造合金メッキ鋼板葺平屋建1棟
(作業棟)
床面積 110.13平方米 (延面積 110.13平方米)
- (11) 群馬県桐生市新里町武井745番地5所在の木造合金メッキ鋼板葺平屋建1棟
(養護所)
床面積 232.09平方米 (延面積 232.09平方米)
- (12) 群馬県桐生市新里町武井745番地5所在の土地
面積 991.00平方米
- (13) 群馬県桐生市美原町1041番26所在の土地
面積 2967.60平方米
- (14) 群馬県桐生市美原町1041番31所在の土地
面積 7.79平方米
- (15) 群馬県桐生市美原町1041番地26所在の鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
1棟(事業所)
床面積 1階524.80平方米 2階144.76平方米 (延面積 669.56平方米)
- (16) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 2981番地2所在の土地
面積 228.23平方米
- (17) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 2981番地4所在の土地
面積 2312.62平方米
- (18) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 2981番地5所在の土地
面積 26.45平方米

- (19) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 2981番地6所在の土地
面積 335.22平方米
- (20) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 2981番地7所在の土地
面積 276.27平方米
- (21) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 3037番地4所在の土地
面積 375.36平方米
- (22) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 3037番地7所在の土地
面積 105.93平方米
- (23) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 3039番地3所在の土地
面積 448.82平方米
- (24) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 3041番地6所在の土地
面積 748.19平方米
- (25) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 3041番地7所在の土地
面積 13.58平方米
- (26) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 3041番地8所在の土地
面積 51.46平方米
- (27) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 2981番地4、3037番地7、
3039番地3、3041番地6所在の鉄骨造かわらぶき平家建1棟 (作業所)
床面積 565.00平方米 (延面積565.00平方米)
- (28) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 2981番地4、3037番地7、
3039番地3、3041番地6所在の鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき平家建1棟
(物置)
床面積 45.22平方米 (延面積45.22平方米)
- (29) 群馬県桐生市新里町新川字熊野 2981番地4、3037番地7、
3039番地3、3041番地6所在の木造合金メッキ鋼板ぶき平家建1棟
(店舗)
床面積 33.12平方米 (延面積33.12平方米)
- (30) 群馬県桐生市新里町武井455番地1所在の鉄骨造陸屋根・セメントかわらぶき
4階建1棟 (寄宿舍)
床面積 1階212.40平方米 2階2255.90平方米 3階1564.22平方米
4階292.79平方米 (延面積4325.31平方米)
- (31) 群馬県桐生市新里町武井字小沢455番地1所在の土地
面積6805.10平方米
- (32) 群馬県桐生市新里町武井字小沢459番地4所在の土地
面積32.33平方米
- (33) 群馬県桐生市新里町武井字小沢511番地2

面積 290.90平方米

- 3 その他財産は、基本財産以外の財産とする。
- 4 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第二九条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会及び評議員会の承認を得て、群馬県知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、群馬県知事の承認は必要としない。

- (1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- (2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

(資産の管理)

第三〇条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第三一条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第三二条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
 - (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
 - (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
 - (4) 事業の概要等を記載した書類
- (会計年度)

第三三条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第三四条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第三五条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意がなければならない。

第七章 公益を目的とする事業

(種別)

第三六条 この法人は社会福祉法第二六条の規定により、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。

- (1) 必要な者に対し、相談、情報提供・助言、行政や福祉・保健・医療サービス事業者等との連絡調整を行う等の事業
- (2) 必要な者に対し、入浴、排せつ、食事、外出時の移動、コミュニケーション、スポーツ・文化的活動、就労、住環境の調整（以下「入浴等」という。）を支援する事業
- (3) 入浴等の支援が必要な者、独力では住居の確保が困難な者等に対し、住居を提供又は確保する事業
- (4) 日常生活を営むのに支障がある状態の軽減又は悪化の防止に関する事業
- (5) 入所施設からの退院・退所を支援する事業
- (6) 子育て支援に関する事業
- (7) 福祉用具その他の用具又は機器及び住環境に関する情報の収集・整理・提供に関する事業
- (8) ボランティアの育成に関する事業
- (9) 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業（社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・コミュニケーション支援者等の養成事業等）

(10) 介護人材の育成等を目的とする貸付事業を利用する個人の連帯保証事業

(11) 社会福祉に関する調査研究等

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数（現在数）の三分の二以上の同意を得なければならない。

第八章 解散

(解散)

第三七条 この法人は、社会福祉法第四六条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第三八条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第九章 定款の変更

(定款の変更)

第三九条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、群馬県知事の認可（社会福祉法第四五条の36第2項に規定する厚生労働省で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を群馬県知事に届け出なければならない。

第一〇章 公告の方法その他

(公告の方法)

第四〇条 この法人の公告は、社会福祉法人広済会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第四一条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長 米原尋源

理事 山口義雄
理事 今泉義司
理事 中村 大
理事 静谷行謙
理事 米原 香
監事 小倉竹次郎
監事 船戸研静

平成24年	4月23日	定款一部変更	つつじヶ丘はなぞの追加
平成24年	6月19日	定款一部変更	桐生市新里町福祉作業所 公益事業から福祉事業へ変更 ① 就労移行、就労継続B型 ② 地域活動支援センター
平成25年	3月12日	定款一部変更	心身障害児集団活動訓練事業（つつじ kid's クラブ） 公益事業から福祉事業へ変更 障害児通所支援事業（つつじ kid's クラブ） 一般相談支援事業（つつじヶ丘相談支援事業）追加 特定相談支援事業（つつじヶ丘相談支援事業）追加 障害児相談支援事業（つつじヶ丘相談支援事業）追加
平成27年	4月21日	定款一部変更	宿泊型自立訓練事業所（さつき寮）廃止 共同生活援助ゆうあいホーム追加
平成29年	3月24日	定款変更	社会福祉法改正に伴う変更 障害児入所施設（つつじヶ丘学園はなぞの寮）廃止 経過的障害者施設（つつじヶ丘はなぞの）廃止 障害者支援施設（つつじヶ丘はなぞの）追加 障害者福祉サービス事業（クローバー）追加 基本財産（美原町の土地・建物）追加
平成29年	6月29日	定款一部変更	障害者サービス事業所（わーくキッズつつじ）追加 基本財産（クローバーの土地・建物）追加

平成30年	7月11日	定款一部変更	目的の変更
令和2年	6月22日	定款一部変更	公益を目的とする事業追加
令和3年	5月7日	定款一部変更	住所変更
令和3年	7月5日	定款一部変更	基本財産（つつじヶ丘光の園建物・土地）追加
令和3年	8月30日	定款一部変更	基本財産（さつき寮・さつき壮）削除
令和4年	6月1日	定款一部変更	基本財産（つつじの家土地）追加